





市議会だより

市議会第四回定例会から

○一般予算十七億三千五百余万円に

市議会第四回定例会は、六月十日午後二時、市役所に召集されました。

市道路線の認定と廃止

○市道路線の認定、廃止、変更について

○市道路線の認定、廃止について

○市道路線の認定、廃止について

○市道路線の認定、廃止について

○市道路線の認定、廃止について

○市道路線の認定、廃止について

○市道路線の認定、廃止について

○市道路線の認定、廃止について

○市道路線の認定、廃止について

○市道路線の認定、廃止について

○市道路線の認定、廃止について

○市道路線の認定、廃止について

○市道路線の認定、廃止について

助役・監査委員を同意

川越市助役に都築肇氏を同意

市務の進展に即応し、直き、円かつて市政を推進するため、助役の定数案が提案されました。

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

○川越市助役候補の同意

議会日誌

埼玉市議会議長会副会長に就

去る六月三日

埼玉市議会議長会臨時総会が

伊東市に於いて

開かれ、伊東市長が

議長に就任した。

六月八日、社会常任委員一行は、

四日間に亘り、先導都市、盛岡市、新庄市の文政行政、特に

学校の整備状況およびプール等の整備などを視察いたしました。

六月十日、社会常任委員一行は、

四日間に亘り、先導都市、盛岡市、新庄市の文政行政、特に

学校の整備状況およびプール等の整備などを視察いたしました。

六月十三日、社会常任委員一行は、

四日間に亘り、先導都市、盛岡市、新庄市の文政行政、特に

学校の整備状況およびプール等の整備などを視察いたしました。

六月十三日、社会常任委員一行は、

四日間に亘り、先導都市、盛岡市、新庄市の文政行政、特に

学校の整備状況およびプール等の整備などを視察いたしました。

六月十三日、社会常任委員一行は、

四日間に亘り、先導都市、盛岡市、新庄市の文政行政、特に

学校の整備状況およびプール等の整備などを視察いたしました。

六月十三日、社会常任委員一行は、

四日間に亘り、先導都市、盛岡市、新庄市の文政行政、特に

学校の整備状況およびプール等の整備などを視察いたしました。

六月十三日、社会常任委員一行は、

四日間に亘り、先導都市、盛岡市、新庄市の文政行政、特に

学校の整備状況およびプール等の整備などを視察いたしました。

六月十三日、社会常任委員一行は、

四日間に亘り、先導都市、盛岡市、新庄市の文政行政、特に

泉小の改築と霞ヶ関小学校分校の建設

かねてより、危険校舎として、これが改築につき種々協議いたしておりました泉小の改築につ

一、契約の相手方 川越市土木部四番地一六

一、契約金額 三千二百三十三万円

一、契約の相手方 川越市土木部四番地一六

一、契約金額 三千二百三十三万円

一、契約の相手方 川越市土木部四番地一六

一、契約金額 三千二百三十三万円

一、契約の相手方 川越市土木部四番地一六

一、契約金額 三千二百三十三万円

一、契約の相手方 川越市土木部四番地一六

一、契約金額 三千二百三十三万円

市営住宅34戸の建設

補正予算六千六百余万円を議決

今回の補正予算で主なるものは、及び一般教育費六十万円、商業

住宅建設費の三十四戸分および、泉 霞ヶ関公民館

小学校改築工事費追加分百三十八 円、市民体育

館追加分五百二十万円などです。 九十万円等

市営住宅建設費三十四戸は、二 千六百三十八

十二戸が二階建てとして、一月償完 補正額は、六

千六百三十八 万円、四階建てにより、三月償完 成の予定で

あります。 計総額十七億 三千五百三十

八万一千円と なりました。 なお、国保 税補正額三十 万六千円も 可決となりま

探択された請願

市内上松原地区内市道第二十三号

路線道路改修ならびに幅員拡張 方請願について

この請願は、大子上松原一九四 番地宮岡憲佐雄氏外二十八名より

提出されました。 市道第二十三号線は、下松原地

区より上松原へ通ずる道路で、幅 員は二・七三、今後ますます増

加の一途をたどる交通量を考えた 時に、このまま放置できない状

況である等、隣接下松原地区と同様 でありますので、さきに、下松原

地区より請願いたしました松原孝 定氏らと同じく、幅員八メートルに

拡大していただくべく、一部改修を お願いいたしたく、請願に及んだ

国保税の一部がかわる

今回の改正は、地方税法の一部

改正および昨年おこなった国民健 康保険の税率改正等によるもの

です。 改正内容としては、被保険者の

資格の得失があった場合の保険税 の調整規定及び低所得者に対する

税の軽減範囲の拡大が主なものだ きます。

つきに改正のおもなるものとし て、①被保険者の社会保険加入等

にともなう保険税額の調整規定は 被用者保険においてとられている

保険料が月額算定方式であるの に対して、国保税の算定方式が年

額方式であるため、おける保険税 の二重負担を調整するための措置

であるのと、②低所得者に対する 軽減率の引上げは、地方税法施行

行政職給料者の一等給七千から 五千円が三万円、一人当り五千

円が十万円に引上げられました。

特別職・教育長の 給与と条例がかわる

特別職職員のうち、常勤特別職 職員の給与の適正化をはかるため

に、助役・収入役の給与を改正し ました。また教育長の給与を

減額率の引上げは、地方税法施行 行政職給料者の一等給七千から

五千円が三万円、一人当り五千 円が十万円に引上げられました。

特別職・教育長の 給与と条例がかわる

特別職職員のうち、常勤特別職 職員の給与の適正化をはかるため

に、助役・収入役の給与を改正し ました。また教育長の給与を

減額率の引上げは、地方税法施行 行政職給料者の一等給七千から

五千円が三万円、一人当り五千 円が十万円に引上げられました。

特別職・教育長の 給与と条例がかわる

特別職職員のうち、常勤特別職 職員の給与の適正化をはかるため

に、助役・収入役の給与を改正し ました。また教育長の給与を

減額率の引上げは、地方税法施行 行政職給料者の一等給七千から

五千円が三万円、一人当り五千 円が十万円に引上げられました。

特別職・教育長の 給与と条例がかわる

特別職職員のうち、常勤特別職 職員の給与の適正化をはかるため

に、助役・収入役の給与を改正し ました。また教育長の給与を

一般質問

市議会第四回(六月二十一日)

において、つぎの議員より一般 質問がなされました。

金子 良雄 議員

1、旧第三消防分団車庫引下げ

について

2、市民体育館請負入札に関する

ことについて

3、伊佐沼総合グラウンド用地譲渡

について

4、学校体育館及びプール建設に

ついて

木村 聡太郎 議員

1、本市について

後開芳雄 議員

1、上下水道指定市店認可につ

いて

中村 源次 議員

1、交通安全対策について

2、遺棄犬の処理について

間 仁田 春二 議員

1、厚生広場について

2、学校体育館について

川 越 市 議 会

川 越 市 議 会

川 越 市 議 会

川 越 市 議 会

川 越 市 議 会

川 越 市 議 会

川 越 市 議 会

川 越 市 議 会



